

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニュース

No.236 2016年12月発行

松崎 明 元委員長の

七回忌を迎えて

JR東労組初代委員長の松崎 明さんが、2010年12月9日23時12分に、74歳の若さで「特発性間質性肺炎」で亡くなつてから丸6年が経ちました。今七回忌を迎えた埼玉県東松山市高坂にある高済寺の墓前には、花を手向け手を合わす人達が連日訪れています。

JR東労組OB会は、松崎 明さんの七回忌を迎えるに当たつて、国鉄改革後JR東労組の初代委員長として活躍され、その後JR東労組OB会の結成にも尽力された松崎 明さんを、今一度ここに偲びたいと思います。

先見性と実践に優れた

松崎 明さん

松崎 明さんは、国鉄時代から日本労働運動に強い影響力を与えてきた指導者の一人であり、その卓越した先見性と実践は、国鉄改革の闘いの中で十二分に発揮されました。それは当時乱立していた労働組合を一つにまとめ上げ、組合員の雇用と職場を守るた



在りし日の松崎さん

めに全国各地を飛び回り、その最先頭に立って陣頭指揮をとっていた勇姿は、今も多くのOB会員の目に焼き付いています。そのリーダーシップは、松崎 明さんの人間味あふれる人柄からもきており、組合員、家族や先輩の退職者からも信頼され慕われていたばかりか、多くの著名人とも親交が深かった事からも伺えます。

受け継がれる

「抵抗とヒューマニズム」

今日でもJR東労組運動の基調になつて居るのは、「抵抗とヒューマニズム」です。松崎 明さんは、常に弱い人の立場に立った発想から物事を考える人でした。こうして組合員から

カンパを募り「旅のプレゼント」や「中国の小学校建設」の取り組みを行いました。更にJR東労組の「政策能力」や「チェック機能」を高めるために、「鉄道安全会議」や「政経フォーラム」を創り出し、会社との「経営協議会」にも力を注ぎました。これらの取り組みは、今も脈々と受け継がれています。

OB会結成にも尽力

松崎 明さんは、JR東労組OB会の結成にも尽力をされました。JRが誕生してから10年経った1997年6月に、「JR東労組OB会」が東京都内で結成されました。

その時の事を初代会長の飯塚不二男さんは、「我らの声」の中で「東京地本を始めとして、新潟、高崎、長野、水戸等を組織する時、松ちゃんも同行してくれました」と記しています。一緒に汗を流して創つてくれたのです。松崎 明さんのOB会への想いは、「我らの声」創刊号の中で次の様に述べられています。

老いたるものは若者と子供達のために生きなければならぬ。そうでなければ単なる老人であり、時として老害ともなる。(略)若くあろうとすることが若者としてのOBだと思ふ。そのためには闘いが必要! (略)権力はフハイする。民衆は騙されやすい。自覚した民衆の集団をOB会はめざすに違いない。その「我らの声」を根づかせ、拡大しよう。

改めて遺志を引き継ごう

人一倍健康に気を付けていた松崎さんが、よもや74歳の若さで亡くなるとは誰が予想できただろうか。志半ばで亡くなった松崎 明さんの無念さと遺志を、しっかりと今の若い組合員に伝えて行こう。その任務を同じ時代を生きたOBは負っています。

水戸地本OB会が活動を墓前に報告

青空が覗く10月29日、水戸地本OB会の役員が松崎 明さんの墓参りをしました。参加したのは、参加者を乗せて車を運転してきた柴田OB担当と、鈴木前会長を含めた地本OB会の役員7名で、お墓の前では本部OB会の伊藤事務局長が出迎えました。この日の墓参りは、念願だった情報紙の発行やレクリエーションの開催など地本OB会活動を活性化させ、組織強化が前進した事を受けて行われました。「いつかは松崎さんに水戸の活動報告が出来るように」と頑張ってきた甲斐があり、墓前に手を合わせる役員の顔は、この日の秋空のように晴れ晴れとしていました。

その後駅前前の蕎麦屋で昼食をとりながら、しばし松崎さんとの思い出話に花を咲かせました。



墓参した水戸地本OB会

バス関東

バス関東OB
連絡会の第7

回定期総会が、11月17日J
R東労組本部中会議室で33
名の参加者で開催されました。
この総会には、奥山本部副
委員長、バス関東の遠山議長、
バス東北の勝山議長と、本部O
B会から伊藤事務局長ら3名
が参加しました。

総会は石塚会長の挨拶の後
中島事務局長より、OB会の無
かった分会にOB会を結成して
きた一年間の取り組みの報告
がありました。

バス関東・東北が定期総会を開催！

総会では、バス関東OB連
絡会の情報を発行して「バス関
連の身近な情報」を提供して行
く事と、エルダーやプロパー社
員の退職者に対して、分会に協
力を得ながらOB会加入の取
り組みを強めて行く事が確
認されました。
総会後は懇親会を開き、

初参加の人や常連の人も、「これからも
元気でやっ行ってこう」と意気盛んでした。

バス東北

バス関東に続いてバス
東北OB連絡会も、11
月18日に仙台地本会議室で、「第2回
定期総会」を開催しました。

この総会には、奥山本部副委員長や
古川本部OB会長などの来賓を含め16
名が参加しました。バス東北OB連絡会
は昨年19名で結成し、この一年間組織
拡大に力を入れた結果、現在25名にな
りました。討論では、これからは現職に
依存せず役員が中心になってやっという
と確認し合い、来年度も仙台地区で総
会を開催することを決定しました。

役員体制
・会長 竹澤長一
・副会長 長尾初男
村上徳久
・事務局長 藤元敏久
斎藤光司
・事務局次長 佐藤秀一

役員体制
・会長 石塚広美
・副会長 越川信吾
越川健一
来栖英世
葛原隆
上原諭
・事務局長 中島諭
・事務局次長 小泉聡

仙台で初の4支部交流！

10月5日山形支部OB会の呼び掛け
で、仙台、米沢、新庄の4支部OB会合
同で「グランドゴルフと芋煮会」の交流会
を開催しました。この交流会には、地本
の大槻組織部長と山形支部の大山委員
長も参加し、総勢35名の参加者で楽し
い一日を過ごしました。

当初この「グランドゴルフと芋煮会」は
山形支部OB会のレクとして考えられて
いましたが、「隣接支部OB会とも交流
して親睦を深めよう」となり、3支部O
B会に呼び掛けた所快い返事を得て、こ
の日の実現になりました。

交流会は、組合員による車での送迎と
芋煮会の準備で成功することが出来ま
した。これも「たしろ」選挙で、OBと現
職が一緒に行動した成果の賜物だと思
います。

懇親会は支部事務所を会場にして開
催され、まずグランドゴルフの表彰が行
われ、その後の懇親会もその話で盛り上
がり、交流会は大成功で終わりました。

の防犯訓練の様子が地元のテレビで数
分間放映され、それを見た近所の人達か
ら「直ちゃんテレビに出ていたネ」と云
われ、チョッピリ有名に
なりました。



現役時代は組合運
動中心の生活でした
が、今は民謡、尺八等
の習い事で知り合った仲
間達と、楽しい毎日を送っています。

チョッピリTVに出演

数年前からは、地元にも完全に溶

け込んだので、氏神様の氏子に推挙
されて神社の行事に参加する様にな
り、「何の知識もない俺が・・・」と悩
んだ事もあるそうです。

そんな折、今年始めに行った神社

わが町の 有名人

OB会
本
地
支
部
の
有
名
人

今月は立川支
部OB会の直井
昭雄さんを紹介
します。

直井さんは現役時代から「直ち
ゃん」と皆から親しまれており、
それはOBになった今でも引き継
がれています。

そんな直井さんは、1997年
に電車運転士として勤めていた中
央線の三鷹電車を退職したのを
機に、37年ぶりに故郷の山梨市へ
転居されました。それ以降は都会

各地で秋しく盛ん

東京

10月29日、東京地本OB会
は、池袋支部OB会の準備で、
「小江戸・川越散策と交流会」を
95名の参加者で開催しました。

「小江戸・川越」は、徳川三代将軍家
光の乳母・春日局の菩提寺「喜多院があ
る歴史的な街です。時の鐘、菓子屋横町
や、電柱のない明治・大正期の街並など
観光名所を巡りながら、ウィンドーシッ
ピングを楽しみました。

15時からは場所を代えて、大宮総合
車両センターで懐かしい「機関車」をパッ
クに記念写真を撮った後、食堂でお楽し
みの交流会を行いました。お正月に本部
から送られてくる「SLカレンダー」を楽
しみにしている会員も大勢いました。

水戸

曇りがちの11月5日水戸地本
OB会は、笠間市北山公園で恒
例となった秋レクの「バーベキュー」
を開催し、27名が集まって楽しい
一日を過ごしました。この「バーベキュー」
には、5年振りに活動を再開した原ノ町
支部OB会から傘寿を越えた会員を含
め3名が参加し、久しぶりに全支部OB
会揃っての交流会となりました。

地本からは日本酒の差し入れがあ
り、若い組合員の焼く肉など食べながら
交流会は大賑わいでした。「もっと仲間と
飲む場を多く」と求める会員もいました。

千葉

11月8日千葉地本OB会は、
役員を中心にして15名で「千葉
港めぐり観光船のたび」を行いました。
千葉地本OB会は毎月幹
事会を開催していますが、中々全員揃っ

「我らの声」(第18号)

現在原稿募集中！

募集期間

2016年12月1日から
2017年1月31日まで

作品は、必ず各地本OB会
に提出して下さい。

〈本部OB会結成20周年記念〉

沖縄県民の闘いと連帯するために
劇団・文化座の

「命どう宝」を観よう！

◇ 月日 2017年2月2日~12日

◇ 場所 東京芸術劇場(池袋)

* 詳しくは新年号に掲載します

て飲む機会も少ないので、春の花見に
続いて今回の計画となりました。
観光船の中でカモメに餌を与えて喜
ぶ顔は、役員会で見せる顔とは違って
新たな一面を見せていました。
下船後は、「ポートプラザちば」で
懇親会を開き、親睦を深めた有意義
な秋の一日となりました。